発生源にメスを入れない有料化はごみ減量につながらない

明るい淀江

日本共産党淀江支部

０６年１０月号

9月議会

ごみの有料化
松本議員は反対

07年4月から
40リットル
(5kg) 60円

○米子市は、平成２２年のごみ排出量を平成１２年度に比べ８％削減する「米子市ごみ処理基本計画」を昨年作成したばかりで、その結果を明らかにしないまま、今度は有料化すればごみが１４～１５％も削減できるといっています。

○松本議員は委員会ではっきり有料化に反対しましたが、新風会派が一袋６０円の修正案を提出し、多数決で有料化を決定しました。

○ごみ袋の値段を「２１年度には見直す」としており、年々値上げも予想されます。

○米子市のごみ処理有料化に反対する運動は、短期間に2，８４１筆の陳情が集まりました。有料化されたら困るという人がたくさんおられます。

○そもそもごみ処理は、自治体の仕事です。

廃棄物処理法
第６条2
市町村は、一般廃棄物処理計画に従って、その区域内における、一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集し、これを運搬し及び処分しなければならない。

○群馬県安中市は一袋（大袋）４５リットル入りが２０円ですが、無料にすることを検討しています。２０円でも市民負担が大変だからです。米子市のように処理費の半分を市民に負担させようなどと考えていないからです。袋の印刷は障害者の方達に委託しているそうです。

松本松子議員は次の４点を一般質問しました。（要旨）

☆ごみの有料化について

住民はごみ処理を税金の一部できちんとやって欲しいという当然の希望があります。

米子市の袋は処理費の半分を市民に転嫁するという無茶な値段のつけ方です。８０円の内訳はどうなっているのですか。

住民の間から、旧淀江町のように一人世帯７０枚、人数によって配布する、そうできないかとの声が強いがどうですか。

庭の枝木も束ねて出せなくなれば、木を切り取ってしまいたいという声があります。どう対処するのですか。

☆障害者福祉サービスの軽減を

米子市が１０月から始める地域生活支援事業のサービス負担はどうなるのですか。独自の費用負担の上限を決めていますか。また、在宅障害者を訪問し、相談に乗る保健士さんの訪問回数が、旧淀江町の時に比べて、少なくなりました。保健士の増員を要望します。

☆介護保険について

新予防給付では「自分でやることが基本」とされ、よほど困難な場合でないとヘルパーによる生活支援が受けられなくなりました。介護サービスを予防給付に変えられて、どのような困難を抱えているのか、実態調査をすべきと思います。また、介護ベッドや車椅子の取り上げを厚生労働省は、一率に回収しないよう通知を出していますが徹底されたのか伺います。

☆使用できない風呂について

淀江町老人福祉センターの風呂のボイラーが故障し、使用できなくなっています。高齢者や関係者からも、何とかならないかと要望が　あります。修理が無理なら、ゆめ温泉」や「ラピスパ」に委託することも考えるべきではありませんか。

日本共産党の
しんぶん赤旗
あなたもお読みください
日　刊●月2,900円
日曜版●月　800円
申込先●
米子市会議員
松本　松子
56－2504